

Daily Report (号外)

～FOMCの結果について～

概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は、12月17-18日に開いたFOMC(米連邦公開市場委員会)で、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を0.25%引下げ、4.25-4.50%としました。今回の採決を巡っては、ハマック・クリーブランド連銀総裁が現状維持を主張して反対票を投じました。

FOMC後に発表された声明文では、インフレについて「2%の目標に向けての進展を示したが、依然として幾分高い水準にある」との表現を維持しました。また、雇用について「労働市場は年初以降、労働需給は総じて緩和し、失業率は上昇したが、依然として低水準にある」といった表現や、「雇用とインフレの目標達成に対するリスクはほぼ均衡している」との認識を維持しました。一方、利下げ方針を示すフォワードガイダンスを、従来の「追加の政策調整を検討する上で」から「追加の政策調整の程度や時期を検討する上で」へ変更しました。

9月以来の公表となるFOMC参加者の経済見通し(中央値ベース)は、2024-2025年のGDP成長率見通しや物価見通し(PCEデフレーターとコアPCEデフレーター)を上方修正し、2024-2025年の失業率見通しを下方修正しました。また、FF金利予測(ドットチャート)については、2024年末は4.4%(前回4.4%)を維持しましたが、2025年末は3.9%(前回3.4%)、2026年末は3.4%(前回2.9%)、2027年末は3.1%(前回2.9%)、長期見通しは3.0%(前回2.9%)に上方修正されました。

パウエルFRB議長は会合後の記者会見で、「今回の利下げは僅差での判断」「今後は慎重に進むことが適切」と述べ、慎重に利下げを継続していく姿勢を示しました。また、トランプ新政権の影響については、「何名かは、かなりの条件付きながら、新政権で予想される政策を見通しに反映し始め、何人かはそうせず、そのほかはそうしたかに触れず」と述べ、新政権による政策の織り込み方が人によって異なり、今後の政策運営の不確実性が高いことを明らかにしました。

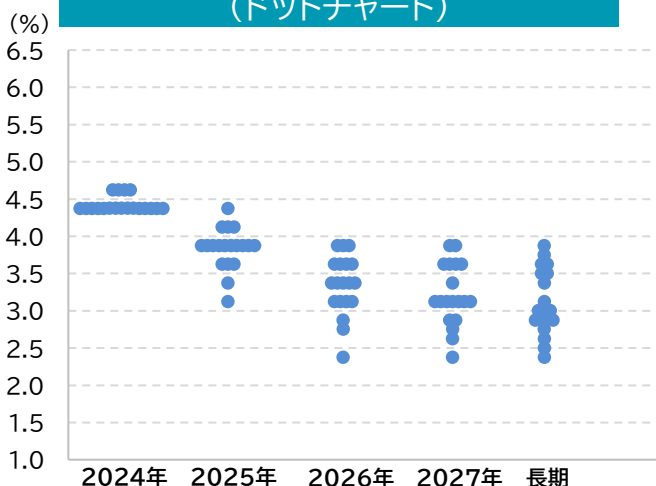
なお、18-19日に開催された日銀金融政策決定会合では、市場予想通りに金融政策の現状維持が決定され政策金利とする無担保コール翌日物金利の誘導目標は0.25%で据え置かれました。

図表1 FOMC参加者の経済見通し
(中央値ベース)

	2024年	2025年	2026年	2027年	長期見通し
GDP成長率	2.5%	2.1%	2.0%	1.9%	1.8%
(前回9月)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	1.8%
失業率	4.2%	4.3%	4.3%	4.3%	4.2%
(前回9月)	4.4%	4.4%	4.3%	4.2%	4.2%
PCEデフレーター	2.4%	2.5%	2.1%	2.0%	2.0%
(前回9月)	2.3%	2.1%	2.0%	2.0%	2.0%
コアPCEデフレーター	2.8%	2.5%	2.2%	2.0%	
(前回9月)	2.6%	2.2%	2.0%	2.0%	
FFレート(中央値)	4.4%	3.9%	3.4%	3.1%	3.0%
(前回9月)	4.4%	3.4%	2.9%	2.9%	2.9%

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測
(ドットチャート)



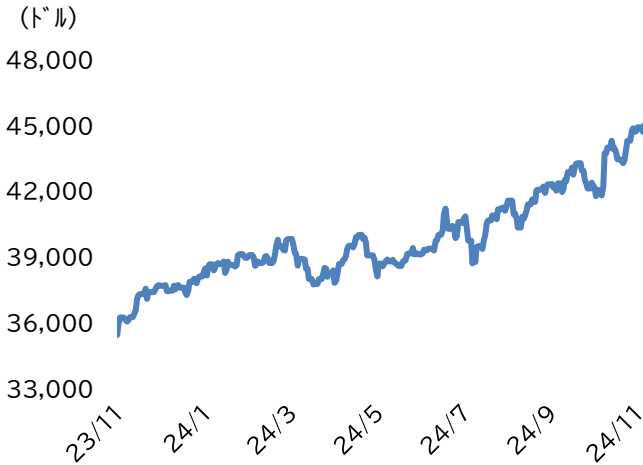
出所:FRBより弊社作成

市場の反応(米国市場)

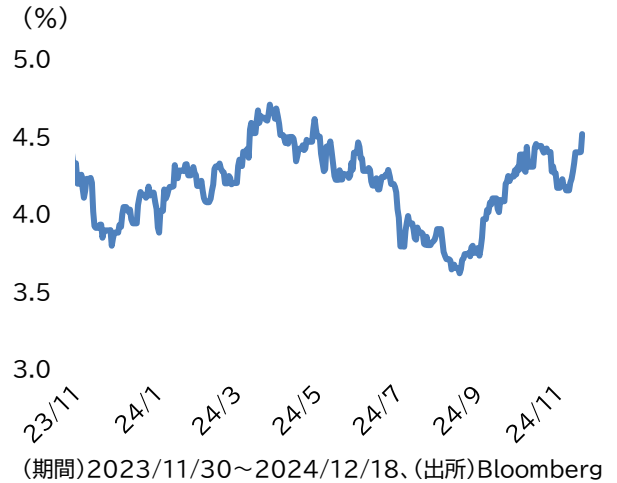
米国株式市場は、今回のFOMCの結果が今後の利下げに対して市場予想以上に慎重な内容だったことから、NYダウは前日比1,123.03ドル安の42,326.87ドルで終え、米国10年国債利回りは前日より0.11%高い4.51%まで上昇しました。

外国為替市場では、ドル円は153円台から154円台まで上昇しました。

NYダウの推移



米10年国債利回りの推移



評価及び今後の見通し

市場では今回のFOMCにて利下げが予想されていたものの、ドットチャートが大きく上方修正されたことや、パウエル議長が予想以上に利下げに対して慎重な姿勢を示したことを受けて株価は大きく下落しました。

利下げ自体は予想通りでしたが、ドットチャートやパウエルFRB議長の記者会見を踏まえると、当面の不確実性が高まる結果となったと評価しています。ドットチャートの中央値は、2025年に追加で0.5%の利下げの可能性を示唆したものの、前回のドットチャートが示唆していた1.0%の利下げよりも利下げ幅が縮小しており、引締めの金融環境が長期化することを示しています。

また、記者会見でパウエル議長は、今後の利下げペースは慎重に判断すると述べ、将来の不確実性が高いため今後の政策運営は慎重に行うことが適切であり、インフレ動向を見守るべきという考えを示しました。

(ご参考)今後の主要イベント

日程	イベント
2025/1/23~24	日銀金融政策決定会合
2025/1/28~29	FOMC
2025/1/30	ECB理事会

出所: Bloomberg